

第5回

構想設計革新イニシアティブ シンポジウム

2日間

3/15
3/20

オンライン

変化を起こすために、 違いを楽しみ、活かす

関係者の総意で未来をデザインする構想設計。さまざまな要素、問題を考えて全体像を想起する、それぞれの「関係性」を考え、「意味」を付与していくチームの協業。その構想設計で「組織の壁を超えて変化を起こす」同志の集い、構想設計革新イニシアティブです。コロナ禍で3年間ほど延期しておりましたが、構想設計コンソーシアム(年会費制:2014年8月~)の月会合が100回を突破したことを記念しまして、リモートシンポジウムを開催します。違いを楽しみ、活かすことで、変化を起こす、そのためにはどうしたらよいかをメインイシューとして、シンポジウムのお題を【変化を起こすために、違いを楽しみ、活かす】としました。

【変化】とは、DX、SDGs、脱ICE、ビジネス再構築、ブランディング、働き方、リスクリング、、、
【違い】とは、若手とベテラン、企画と実施、経営層と現場、地域と中央、、、

The Initiative of Design Evolution

主催：国立研究開発法人 産業技術総合研究所



お申込みはこちら

Day 1

◎ 日時

2023年3月15日(水) 13:00 - 16:20

◎ テーマ

「変化を起こすためには？」

◎ キーノート

「デザインとブランドと経営のあいだで
ブランディングの本質とは何なのか？」

ヤンマーホールディングス(株)
取締役 長屋明浩様



Day 2

◎ 日時

2023年3月20日(月) 13:00 - 16:50

◎ テーマ

「違いを楽しみ、活かすには？」

◎ キーノート

「違いの活用 言うは易く行うは難し」
(株)日本経済新聞社

編集委員
木村恭子様



◎ 開催場所：オンライン開催 (WebEX meetings)

◎ 参加費：無料

◎ 定員：120名

◎ プログラム詳細とお申し込みはこちらから

<http://www.monozukuri.org/tide/symposium202303.html>



価値は意味から、
意味は関係性から生まれる

構想設計革新イニシアティブ



The Initiative of Design Evolution

構想設計革新イニシアティブ

変化を起こすために、 違いを楽しみ、活かす

◎本シンポジウムはこんな方に有効です

- ・若手がアイデアを出してくれないと悩むリーダー
- ・上に意見を言いにくいと躊躇している現場 (特に若手等)
- ・建前やかけ声のダイバーシティから一歩も進めないと諦めかけている方
- ・封建的な雰囲気の中で仕事をしている方々
- ・多彩な意見を活かせず、議論がとっ散らかってしまうというトラウマをお持ちの方



お申込みはこちら

Day 1

◎日時

2023年3月15日(水) 13:00 - 16:20

◎テーマ

「変化を起こすためには？」

改革や変化を受け付けられない組織の雰囲気は諦めていますか？組織の雰囲気を変え、エンパワーするデザインに注目が集まっています。しかし、デザイン思考やデザイン経営のキーワードは知っているが、実はよく分からないという人も多いと思います。キーノートスピーチには、レクサスブランドの立ち上げ、ヤマハ発動機での経営デザインを進められ、現在はヤンマーにて改革を推進されている長屋明浩様にご登場いただきます。パネルディスカッションでは長屋様と共に、地域変革デザインに取り組まれている公設研のデザイン研究者と議論を開いていきます。

◎キーノート

「デザインとブランドと経営のあいだでブランディングの本質とは何なのか？」

ヤンマーホールディングス(株)

取締役 ブランド担当 長屋明浩様

◎内容

13:00 - メッセージ: RIETIコンサルティングフェロー

西垣淳子様

13:15 - キックオフ: デザイン思考/経営とデザインブレインマッピング 産業技術総合研究所 手塚明

13:45 - キーノート: 長屋明浩様

15:00 - パネルディスカッション (1):

【変化を起こすのにデザインは役立つのか？】

司会: 産業技術総合研究所 宮田なつき

パネラー:

- ・ヤンマーホールディングス(株) 長屋明浩様
- ・岩手県工業技術センターデザインラボ 高橋正明様
- ・山形県工業技術センターデザイン科 大場智博様
- ・石川県工業試験場デザイン開発室 餘久保優子様
- ・産業技術総合研究所 手塚明

Day 2

◎日時

2023年3月20日(月) 13:00 - 16:50

◎テーマ

「違いを楽しみ、活かすには？」

ダイバーシティが重要なのはわかるが議論がとっちらかって上手くいかないと悩んでいませんか？一方で、心理的安全性とフラットな対話、この二つ、言うは易く行うは難し、と実感されていませんか？キーノートスピーチには、違いの積極的活用へ課題意識が高い、日本経済新聞編集委員 木村恭子様にご登場いただきます。パネルディスカッションでは、これまでDBM(デザインブレインマッピング)ワークショップを体験してきた方々と、何がどのように変わったか、今後の課題は何かについて、議論を展開していきます。

◎キーノート

「違いの活用 言うは易く行うは難し」

(株)日本経済新聞社 編集総合解説センター編集委員

木村恭子様

◎内容

13:00 - メッセージ: (株)コボCEO 山村真一様

13:15 - キックオフ: メンバーをエンパワーするデザインブレインマッピング 産業技術総合研究所 手塚明

13:35 - キーノート: 木村 恭子様

14:50 - 事例紹介: ①DBMワークショップによる地域企業支援 岩手県工業技術センター 高橋正明様/②東京大学グローバルサイエンスキャンパスにおけるDBMワークショップ 東京大学大学院教授 大島まり様

15:30 - パネルディスカッション (2):

【DBMワークショップの魅力とは？】

司会: 産業技術総合研究所 手塚明

パネラー:

- ・(株)リコー 及川研様
- ・マツダ(株) 濱谷直美様
- ・東京大学UtokoGSC 川越至桜様
- ・(株)東陽テクニカ 井口玉美様
- ・(株)アイカムス・ラボ 小此木孝仁様

【お問い合わせ】

国立研究開発法人 産業技術総合研究所 製造技術研究部門内 構想設計革新イニシアティブ事務局

◎プログラム詳細とお申し込みはこちらから <http://www.monozukuri.org/tide/symposium202303.html>